

あなたがたの切り出された岩、掘り出された穴を見よ。

イザヤ51:1

2013(25)年 週 報

12月15日

第3聖日
第3330号

「マリヤの賛歌」

(クリスマス連続講演3回)

わがたましいは主をあがめ、わが霊は、わが救い主なる神を喜びたたえます。」

ルカ1:47~48

聖
言

真実の癒し

イエス様は私たちの全てを赦してください。愛のお方です。それは分かっているのですが、自分で自分の醜さを憎みどうしても自分のほうからイエス様と隔てを置いてしまいます。あまり自分で自分を責めないようにしましょう。もし、本当に私がいきていて人を傷つけているなら、今頃私など生きていないはずですから。「生きてもいいのだよ。たとえ人がろくでない。役立たず。」と非難しても、イエス様はこのような私をよりによってどういうわけか不思議にも愛してください。だから。塩狩峠という実話を基にした三浦綾子さんの小説でクリスマスチャンの長野青年が結婚を間近に婚約者を残し、機関車の連結器から外れた客車とレールの間に自らの体を挟んで乗客を救いました。これはまさにイエス様が罪人を永遠の滅びから救い出したイエス様の十字架の姿です。多くの人々はこのようなかげがえのない神の愛を知らず、生きることに苦痛を覚えています。私たちは、生きることに辛さを覚える人々に癒しやカウンセリングによりストレスを取り除くこととともに、イエス・キリストを宣べ伝えることを優先的にすることにより、人間的慰めにまさり神の慰めが直接的にそそがれる生きる力が回復することを伝えなければなりません。

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 神戸長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇二三年二月八日午前二〇時 礼拝 山本牧師

「ザカリヤの賛歌」(クリスマス連続講演二回)

「さて父ザカリヤは、聖霊に満たされて、預言して言った。「ほめたたえよ。イスラエルの神である主を。主はその民を顧みて、贖いをなし、救いの角を、われらのために、しもベダレデの家に立てられた。」(ルカ一ノ六七〜六九)

ザカリヤは神様に一番近い生活をしてきたが、不信仰のためしゃべれなくなる。日常の会話はできて神の言葉を語れないのはザカリヤと同じである。しかし、しゃべれないので黒板に生まれてくる息子の名をヨハネと書いた時しゃべれるようになった。そして最初の言葉は神を賛美した。信仰の回復は神の言葉が語れるようになる。

二〇二三年二月一日午後七時 祈祷会 山本牧師

「モアブの滅亡」

「ああ。モアブ。ケモシユの民は滅びた。あなたの息子はとりこにされた。娘は捕虜になって連れ去られた。しかし終わりの日に、わたしはモアブの捕らわれ人を帰らせる。主の御告げ。ここまではモアブのさばきである。」(エレミヤ四八ノ四六、四七)

モアブはアブラハムの甥ロトと娘との近親結婚の子孫である。かれらはイスラエルと親戚でありながら敵対した肥沃な土地、難攻不落の要害に住み、人を見下し高慢の罪に陥る。ナオミとエリメレクは飢饉のためモアブに避難して、そこでモアブの女儿ツは姑ナオミの信仰に従った。やがてイエス様の時代、聖霊降臨を体験したモアブの民が神様の救いに預かる約束の預言である。

今年のクリスマス

日時 二月二日(日)

賛美礼拝 午前十一時

会食費(御寿司 大七〇〇円 小四〇〇円)

コンサート 午後二時

ピアノと賛美 水野夏子姉、水野洋一兄、

クリスマス連続講演

一、救い主到来の予告 二月一日 イザヤ七、九章

二、ザカリヤの賛歌 二月八日 ルカ一章

三、マリヤの賛歌 二月一五日 ルカ一章

四、救い主の降誕 二月二日 ルカ二章

クリスマス集会 十二月二日(日)

クリスマス賛美礼拝 午前十一時〜午後〇時半

黄金聖句朗読 尾瀬姉

司会 庄司姉

一、前 奏 小村姉

一、聖歌隊入堂斉唱(生ける者) 一〇〇(三頁)

一、聖歌隊斉唱(くしき星よ) 一一八(四頁)

一、聖書 朗読(ルカ二ノ一〜五) 小段姉(五頁)

一、(ルカ二ノ六〜一〇) 尾瀬姉(五頁)

一、(ルカ二ノ一一〜一五) 庄司姉(五頁)

一、(ルカ二ノ一六〜二〇) 全員(五頁)

一、祈 禱 榊原姉

一、聖歌隊斉唱(ああベツレヘム)

(いざうたえ) 一 一五(六頁)

(天なる神には) 一 〇八(七頁)

(今宵なりわたる) 一 一四(八頁)

(きよしこの夜) 二 〇九(九頁)

一 〇九(二〇頁)

一 〇六(二二頁)

一、一同 賛美(もろびと) 一 〇六(二三頁)

(荒野のはてに) 九 八(二三頁)

一、聖歌隊退堂斉唱(あめにはさかえ) 九 八(二三頁)

一、メッセージ「救い主の御降誕」 山本 牧師

一、一 同 賛美(まぶねのなかに) 一 二一(二四頁)

一、感謝 献金 一 同

一、感謝の祈禱 大内 家

一、頌 栄 一 同(二八頁)

一、祝 禱 山本 牧師

一、会 食 二階 食堂

クリスマスコンサート 午後二時〜午後四時

司会 山本 師

一、賛美と演奏 水野夏子姉

一、賛美や信仰の恵みの証さんび

一、プレゼント

大日丘クリスマスたこ焼き会日時

日時 一二月二四日(火)

たこ焼き会 午後 四時

場所 大日が丘住宅集会所

腹話術、ゲーム、賛美

宣教④

第三課 歴史の主人公になられた神

―世界宣教の歴史―

三・二・二 修道院による宣教

a) 修道院運動の起源

・パコミウス (Pachomius292〜?)。

パコミウスはアントニウスと異なり、共同体的な修道院を創設した人物だ。彼は未信者の家庭に生まれ、洗礼を受けて苦行者となり、修道院を始めた。複数の修道院を建て「中央修道院」を作り、そこで各修道院を管轄した。四世紀末にはこうした制度が成熟期に至り、パコミウスが死を迎えた際には各修道院には二〇〇〜三〇〇人、総勢三〇〇〇人も修道士がいたと言う。パコミウスの制度はアントニウスの制度を取り込み、修道院の一般的な形態として定着した。(ワイ・ミッシェンより)

第十二回癒し五日連続祈禱完了

一〇月一八日(金)〜二月六日(金)は完了

第十二回癒し五日連続祈禱

二月七日(土)〜一月五日(土) 午後一時〜午後二時半

場所 教会 階(気軽に参加して共に祈りましょう)
(祈りの後、楽しいティーで休憩)